

「さくらクラブ吾川」会長杯 テキーラ3連覇

さくらクラブ吾川主催「第5回春季会長杯ソフトボール大会」が5月11日から町民運動場で開幕し、2ヵ月間にわたるリーグ戦(4チーム総当たり2回対戦)を制した「テキーラ」が3年連続で優勝しました。

ソフトボール・ナイターリーグ

○チーム成績

優勝 テキーラ (4勝1敗1分)
準優勝 X
第3位 役場

○出場チーム

テキーラ・X(エックス)・
役場・名野川エラース

☆個人打撃ランキング☆

順位	選手名	打率	順位	選手名	打率
1	上村 学(テ)	.545	6	片岡 裕雅(名)	.429
2	久保田考一(X)	.500	7	岡林 剛世(テ)	.409
2	加藤 賢治(テ)	.500	8	谷平 幸道(役)	.400
4	菊池 祥彦(X)	.455	9	片岡 晴彦(役)	.381
5	鎌倉 昌大(X)	.450	10	野地 賢正(X)	.375



若々しい田元さん

6月19・20日 大阪市の長居第二陸上競技場で「第二十一回全日本マスターズ陸上混成競技選手権大会」が行われ、久喜の田元久木さん(八十五歳)が好成績を収めました。

田元さんはM85(男性八十五歳〜八十九歳)クラス五種競技(走り幅跳び、やり投げ、二百メートル走、円盤投げ、千五百メートル走)の部に出場し、記録千八百二十八点を獲得して見事第二位となりました。

天気の良い日は朝二十〜三十分のジョギングを常としており、時間があれば久喜小学校跡で円盤投げや砲丸投げなどの練習も行っているそうです。

好成績にも「二位らあ大したことない、ない」と笑う田元さん。前向きで努力家な性格とその健脚ぶりから、今後更なる活躍が期待できそうです。

田元久木さん(久喜)
全日本マスターズ五種
M85で準優勝

大盛況の「山のなんでも市」／しもなの郷

6月20日 しもなの郷で「山のなんでも市」が行われ、掘り出し物を求めて町内外から約100人が訪れました。

会場には山野草や農産物、手作りの工芸品などがずらりと並び、目移りしながらお気に入りの品を買い求める人々で終日盛況でした。

また飲食コーナーも好評で、訪れた人たちは地元産そば粉を使った手打ちそばや、アメゴの塩焼き、いりもちなど、田舎料理を堪能していました。

当日は地域の住民らがスタッフとして参加し、商品の紹介や調理など生き生きとした様子でイベントを盛り上げていました。

住民参加で郷ににぎわい



「いっぱいありすぎて悩むねえ」



仁淀高校便り

廃校が決まり最後の生徒となった仁淀高校三年生の活動をお伝えします。

私たちの通う仁淀高校では「総合的な学習の時間」のテーマを「自分を知り、地域を知る。」仁淀川町にふれる」として様々な活動をしています。

今回は長瀬小学校跡地にあるマッシュルーム農家の見学に行きました。マッシュルームを育てている部屋は室温が低く、肌寒かったことが印象に残っています。シイタケのように原木で育てるのかと思っていましたが、花壇のようなところで育てられていてびっくりしました。収穫も初めてでしたが、案外簡単に採れたことに感動しました。普段はできない体験ができて良かったです。

マッシュルーム農家の皆さん本当にありがとうございました。

三年 藤原 絵理奈



六月十七日、「総合的な学習の時間」に仁淀川町大尾のマッシュルーム農家見学に行きました。この日私たちが見学したのはブラウンマッシュルームで、生で食べるという初めての経験もできました。生のマッシュルームはすごく甘くて美味でした。収穫もさせてもらって学校でマッシュルームを使ったピザやオムレツを作りました。とれたてのマッシュルームを使った料理はどれもとても香りが良くておいしかったです。

マッシュルームの栽培見学や収穫体験などとても貴重な体験ができました。いろいろな説明をくださった竹内さん、本当にありがとうございました。

三年 山田 愛里

小型ポンプ操法は森分団と安居分団が優勝・町大会出場へ

6月20日 仁淀川町消防団仁淀・池川各地区大会が、合田幸市郎団長以下151人（仁淀91人、池川59人）の団員と消防関係者が参加して行われました。

仁淀地区大会

仁淀中学校グラウンドで、仁淀地区大会が開催されました。

服装および機械器具点検の後、小型ポンプ操法の競技が行われ、厳しい訓練を重ねてきた選手らは機敏な動作で操法に取り組んでいました。

この競技は町大会出場の予選を兼ねており、見事第1位となった森分団が出場を決めました。

その後、川渡五所神社前の河原に場所を移し、一斉放水を行いました。

小型ポンプ操法 (7分団出場)

- 第1位…森分団
- 第2位…川渡分団
- 第3位…長者分団



消防団仁淀・池川地区大会

池川地区大会

一ノ谷駐車場で、池川地区大会が開催されました。

小型ポンプ操法を安居分団と用居分団が競い、放水して標的を倒すまでの時間や動作の正確さ、規律など日ごろの練習の成果を十二分に発揮しました。

その後、早出し放水競技、早掛け放水競技、中継放水競技、カン送り競技が行われ、実際の火災現場さながらの緊張感のなか、真剣勝負を繰り広げました。

小型ポンプ操法

- 第1位…安居分団
- 第2位…用居分団

その他の競技結果 (第1位)

早出し放水：安居分団、早掛け放水：池川分団B、中継放水：池川分団、カン送り：用居分団



長者五所神社で「輪抜けさま」

(長者の西森直隆さんからの投稿です)

6月30日 長者の五所神社境内で「夏越祭」が行われました。

五所神社での「輪抜けさま」行事は、今年初めて行われました。

当日の午前10時から、関心を持った地域の方ら数十人が五所神社に集まり、大きな輪をくぐって参拝をしました。

また、神社の関係者は「地域住民のけがれをはらい、無病息災を願うのは素晴らしいこと。是非こういった行事を続け、後世に伝えたい」と話されました。



無病息災を願い輪をくぐります

★皆さんの投稿お待ちしております

当日は、片岡和政高吾保護司会長が「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力が必要で、安全で安心な地域社会を築くために、運動の社会的意義のご理解と参加をお願いします」との法務大臣からのメッセージを大石弘秋町長へ伝達しました。

六十回目という大きな節目を迎えた今年は、運動の趣旨をより分かりやすく、多くの人に理解してもらえよう重点をおいて活動しています。

7月1日 犯罪や非行の防止と、犯罪を犯した人の更生への理解を啓発する「第六十回社会を明るくする運動」が行われ、高吾保護区保護司会員ら約五十人が参加しました。参加者は佐川町、越知町、仁淀川町をパレードし、運動への理解と参加を呼びかけました。

節目の60回 社会を明るくする運動

**犯罪や非行
防止し更生支える
地域の力**



法務大臣からのメッセージを伝達する片岡高吾保護司会長

仁淀中で薬物乱用防止教室

7月2日 仁淀中学校で中央西福祉保健所の職員2人（山本浩徳さん、澤田祐貴子さん）を講師に迎え「薬物乱用防止教室」を行いました。

当日は仁淀中学校2年生と教職員のほか、薬物乱用防止推進員の片岡和政さん、大野孝美さん、植田和生さん3人も参加しました。

「薬物の種類や恐ろしさ」についての講義や、先生方による「薬物の断り方」の実演、DVDでラットを使った動物実験で薬物のもたらす作用を学習し、正しい知識を身につけました。

終了後、生徒からは「今日の薬物乱用防止教室を受けて、もし自分が将来薬物を使うように誘われたときに、強い意志を持って断りたいと思いま

した」「今までも薬物に対する知識はありましたが、今日の講義で今まで知らなかったことを知ることができ、改めて薬物の恐ろしさを感じました」と感想が出ました。



真剣に講義を受ける生徒ら